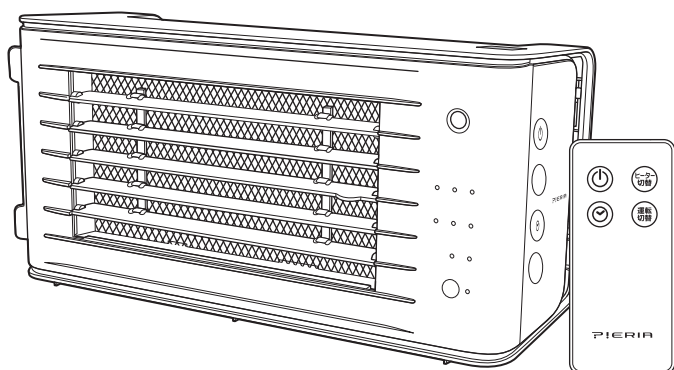


人感センサー付き壁掛けセラミックヒーター CHT-122J/THC-122J/BCHT-122J

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。



も く じ

安全上のご注意P. 2~3
各部の名称とはたらきP. 4
使用前の準備P. 5~9
正しい使いかたP. 10~12
お手入れと保存P. 13~14
修理・サービスを依頼する前にP. 15
アフターサービスについて裏表紙
保証書裏表紙



仕 様

型 名	CHT-122J / THC-122J / BCHT-122J
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	強1200W / 弱800W
ヒーター	PTCヒーター
安全装置	転倒オフスイッチ (内蔵タイプ) / 温度ヒューズ / サーモスタット / 切り忘れ防止機能
電源コード長さ	約2m
外形寸法	約 幅38.5×奥行14.5×高さ19cm (横置き使用の場合)
質 量	約2kg (リモコン・壁掛用ブラケット含まず)
付属品	取扱説明書・保証書×1、リモコン本体× 1、リモコン用コイン形リチウム電池 (CR2032)× 1、プレフィルター×1 (本体内に装着済)、壁掛用ブラケット×2、壁掛用フック×2、木ネジ×2、ピン×10、ピン台座×2、ピン台座用キャップ×2、取付用定規×1



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

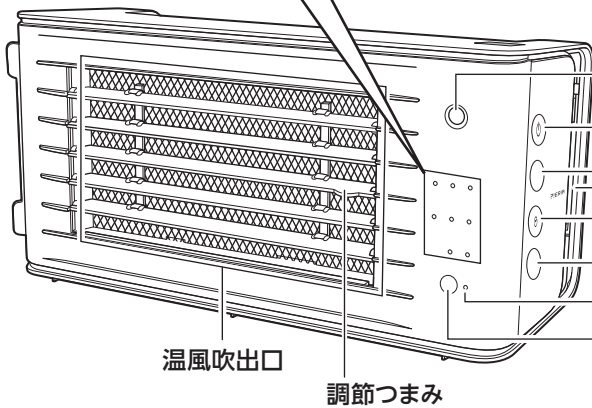
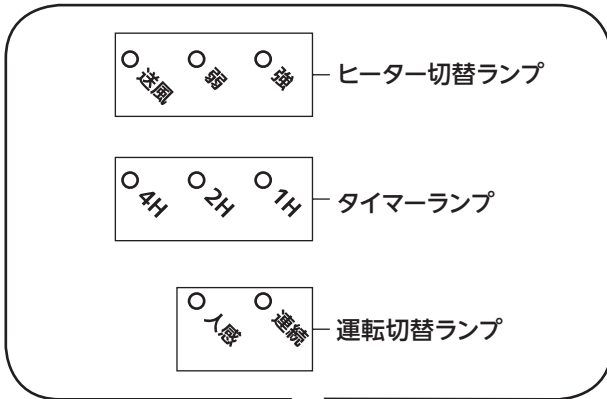
 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		定格15A以上の壁コンセントを単独で使う。 他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火することがあります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しない。 けが・やけど・感電の原因になります。	 プラグを抜く	電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときは、こすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。
	高温になるところ、湿度の高いところ、直射日光の当たるところ、ガスレンジなどの火気の近く、引火性のガスのあるところ、屋外など雨や風の当たるところなどに設置しない。 故障・感電・けが・火災の原因になります。		使用後は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。 火災・故障の原因になります。
	スプレー缶などを本体の近くに置かない。 爆発・火災の原因になります。	 分解禁止	お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	本体に衣類やふとんなどを掛けて使用しない。 過熱して、火災・やけどの原因になります。		分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドワンシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	就寝中は使用しない。 寝具などが触れて火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	壁掛けするときは、強度のない場所に設置しない。 落下して、けが・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。

! 注意

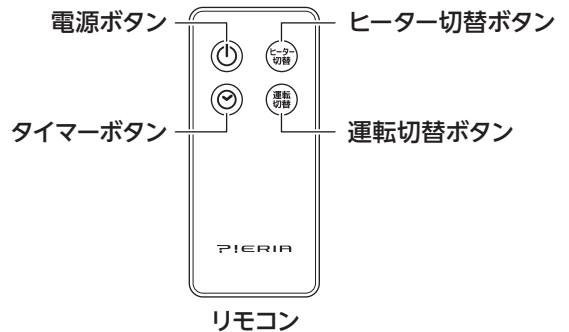
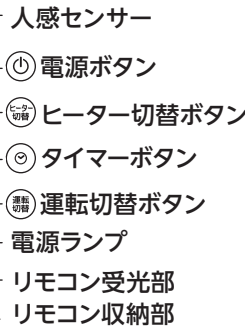
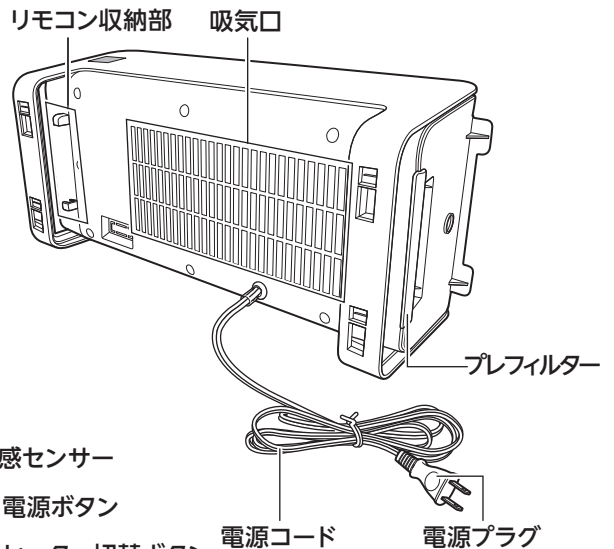
 禁止	壁や家具の近くで使わない。 熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因になります。	 禁止	リモコンの電池は直射日光があたる場所など高温になる場所に置かない。火の中に入れない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。
	カーテンやふとんなど、燃えやすいものの近くで使わない。 火災の原因になります。		電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。
	乾燥など他の用途に使用しない。 過熱して発火の原因になります。		リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂・火災などの原因になります。
	使用中は本体から離れない。 火災の原因になります。		長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。
	犬やネコなどのペット暖房用には使用しない。 ペットが本体や電源コードなどを傷め、火災の原因になります。	 指示	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。
	不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使わない。 けが・火災の原因になります。		お手入れや持ち運び、保存の際は本体が冷めてから行なう。 火災・やけどの原因になります。
	お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。		運転をする際は、必ずフィルターを取り付ける。 フィルターを取り付けずに運転すると、火災・故障の原因になります。
	壁掛けしたときは、ものや衣類をぶら下げたり、ぶら下がったりしない。 落下してけがや故障・破損の原因になります。		異常な振動や動作を感じた時はすぐに使用を中止する。 火災・感電・けがの原因になります。特に壁掛けしたときは、取り付けがゆるんでいたりしますので、使用を続けると落下の原因になります。
	壁掛けするときは、絶縁されていない壁面には取り付けない。 漏電すると、火災の原因になります。	 接触禁止	使用中や使用後しばらくは、温風吹出し口(高温部)に触れない。 やけどの原因になります。
	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。		

各部の名称とはたらき

前面



後面



注意

- 使用中は本体から離れない。
- 本体を移動させる場合は、本体が冷めてから取っ手を持って移動させる。
- 使用中や使用後しばらくは、温風吹出口に触れない。

安全装置について

- 使用中に転倒したときは、転倒オフスイッチが働き、電源が切れます（横置き・縦置きとも）。
- 温度が上昇すぎると、サーモスタットが働き、自動的に運転を停止します。（温度が下がると運転を開始します。）
さらに温度が上昇すると、温度ヒューズが働き、運転回路を遮断します。（温度が下がっても運転は開始されません。販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご連絡ください。）

人感センサーについて（「人感センサー運転」時のみ有効）

人の動きを感知して自動的に運転を開始します。人がいなくなると、約2分後に暖房が停止し、さらに10秒後に送風運転が停止します。

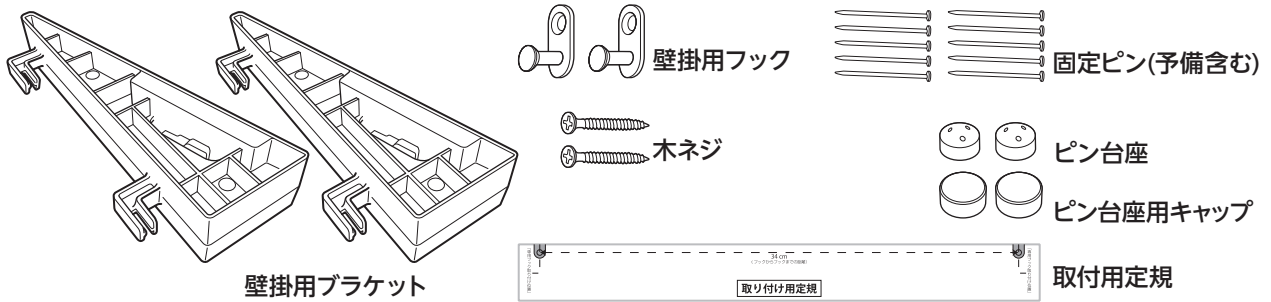
※ センサー感知範囲は左右合わせて約60度、上下合わせて約60度、センサー到達範囲は1.5m以内です。

使用前の準備

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体.....	1個	木ネジ.....	2本
リモコン.....	1個	固定ピン.....	10本
コイン形リチウム電池.....	1個	ピン台座.....	2個
フィルター（本体内に取付済）.....	1個	ピン台座用キャップ.....	2個
壁掛用ブラケット.....	2個	取付用定規.....	1個
壁掛用フック.....	2個	取扱説明書（保証書含む）.....	1個



リモコンに電池を入れる

下記の手順で付属のコイン形リチウム電池を入れてください。

1. ツメを押して①、電池ボックスをリモコン本体から引き出す②

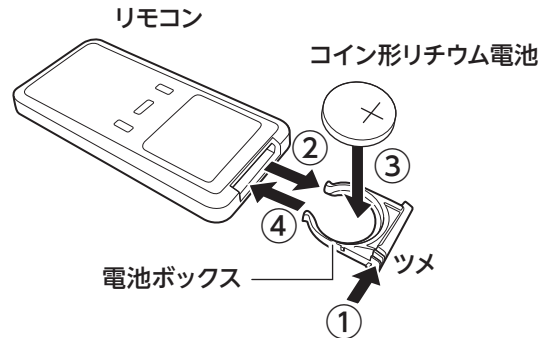
電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。引き出しにくいときはツメをようじなどで内側に押しおくと引き出しやすくなります。

2. 電池の⊕⊖の向きに注意して電池ボックスにコイン形リチウム電池を取り付ける③

電池の⊕側を上にして取り付けてください。

3. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む④

カチッと音がするまで差し込んでください。



⚠注意

- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- 電池の⊕⊖は正しく入れる。故障・液もれの原因になります。
- 電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- 液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

使用可能範囲

- 本体リモコン受光部正面から直線で約5m以内
 - 本体リモコン受光部正面から左右合わせて約60度以内
- ※リモコンと本体リモコン受光部の間に障害物があるときは、リモコンが正常に動作しないことがあります。

使用前の準備 (つづき)

使用前の準備

ここでは、横置き・縦置きをした場合を記述していません。壁掛けで使用するときは、こちらをお読みいただいた上で「壁掛けのしかた」もお読みください。

1. 本体を水平な場所に設置する

安定した水平な場所に設置してください。

- 近くに可燃物がないことを確認し、可燃物がある場合は、移動させてからご使用ください。
- 本体を動かすとカラカラと音がしますが、これは転倒オフスイッチ (安全装置) の音であり、異常ではありません。

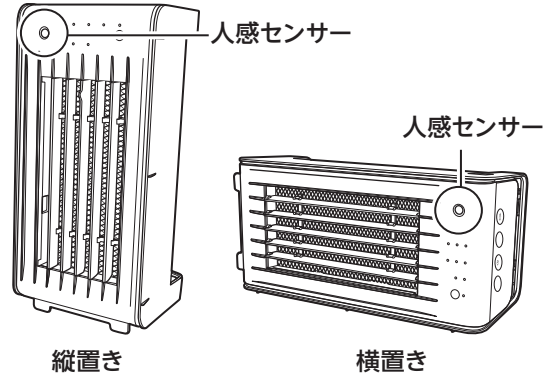
※ 横置きにしたとき、縦置きにしたときでも、人感センサーを上側にして設置します。上下が逆の状態では転倒オフスイッチにより、動作しません。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む

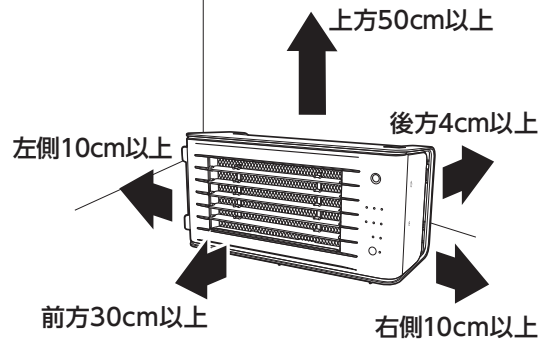
電源ランプが点灯し、「ピッピッ」という音が出ます。

警告

- 定格15A以上の壁コンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火の原因になります。
- 本体に衣類などをかけて使用しない。
火災・やけど・本機の故障の原因になります。
- 電源コードを束ねたまま使用しない。
電源コードの発熱・発火の原因になります。
- 外出等で本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
安全装置が働いて、ヒーターが停止していることがあります。温度が下がると自動的に運転を開始しますので、消し忘れ・火災の原因になります。



本製品は壁や周囲から適当な距離を保ってください。(火災の原因になります)



次のような場所では使用しないでください。

※ 毛足の長いカーペットや座布団の上などの不安定な場所 (本体が傾いたり、浮いたりして、転倒や転倒オフスイッチの誤動作の原因になります。)

壁掛けのしかた

取り付け上の注意

- 本品の固定ピンは石膏ボード(9mm以上)、木ネジはベニヤ板(5mm以上)の壁専用です。上記以外の壁、場所及び穴有り吸音ボードには取り付けられないでください。
- 固定ピンを手などに刺さないように注意してください。
- 固定ピンはピン台座3箇所のピン穴全部に最後まで打ち込んでください。
- ピン台座用キャップを必ずかぶせてください。
- 同じ箇所へ固定ピンを差し込まないでください。十分な強度で取り付けができなくなります。
- 賃貸などのお部屋での取り付けはご自身の責任の範囲にてお取り付けください。
- ご不明な点がございましたら、ドウシヤお客様相談室へお問い合わせください。

1. 設置する場所を決める

安定した丈夫な梁、垂直な壁に設置してください。

壁掛けをするときは、必ず横向きで壁掛けします。

縦向きにしたいときは、壁掛けではなく、安定した台などの上に縦置きにして設置してください。

壁掛けした状態で、左側に30cm(フィルターのお手入れに必要)、右側に10cm(リモコンの収納に必要)の空間があくように場所を決めてください。6ページ右枠と併せて距離を保ってください。

電源(コンセント)からの距離も十分に考えてください。

2. 取付用定規を使って壁掛用フックの取り付け位置を決める

取り付け位置を決めたら、取付用定規を取り付けたい位置にセロハンテープなどで仮止めしてください。

3. 壁掛用フックを取り付ける

取付用定規の左右にあるU字型「専用フック取り付け位置」に合わせて、壁掛用フックを取り付けます。

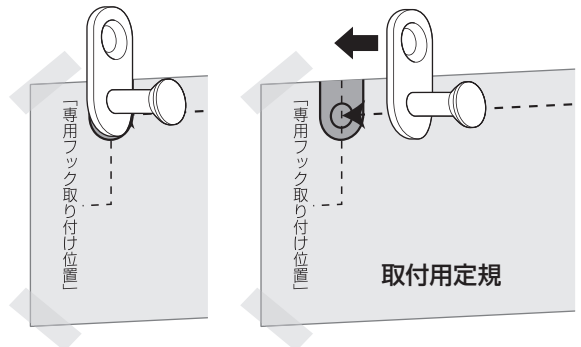
《ベニヤ板に木ネジで使う場合》

壁掛用フックの穴に木ネジを使って壁掛用フックを固定させてください。

- 壁掛用フックのフックが必ず下になるようにしてください。
 - 木ネジの頭が壁掛用フックを固定させるまで(壁につくまで)ねじ込んでください。
- ※ベニヤ板に設置する場合は固定ピンを使用しないでください。

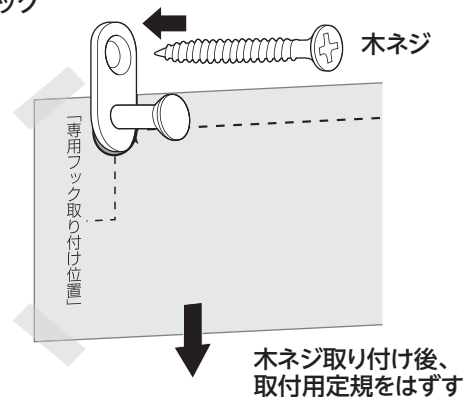
- 取付用定規を下方向にはずしてください。

壁掛用フック



◆ベニヤ板の場合

壁掛用フック



使用前の準備 (つづき)

《石膏ボードにピン台座で使う場合》

ピン台座に3本の固定ピンを根本まで打ち込んでピン台座用キャップを取り付けます。

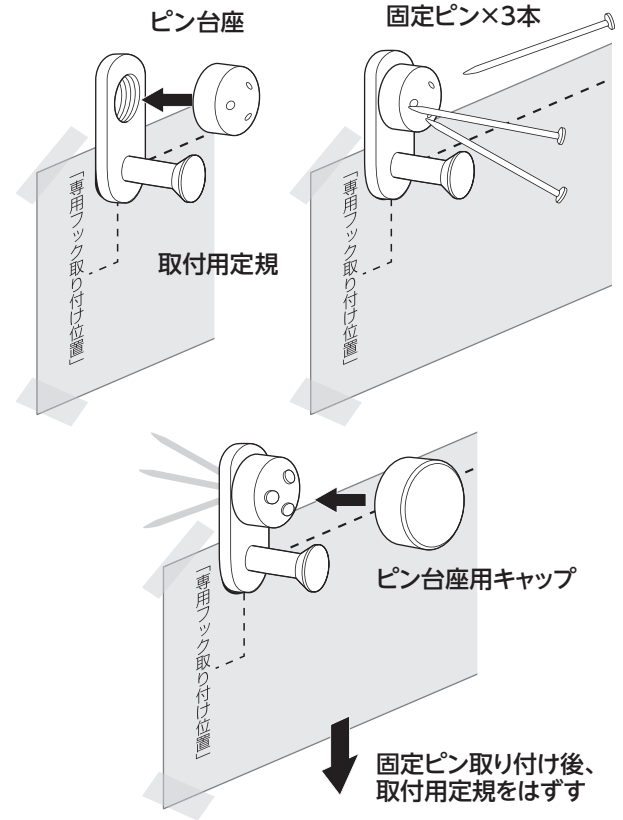
- 1 壁掛用フックの上からピン台座を取り付けます。
 - 壁掛用フックのフックが必ず下になるようにしてください。
- 2 ピン台座に3本の固定ピンを根本まで取り付けます。
 - 打ち込み方向に違いがありますので、1本ずつ取り付けてください。
 - 根元まで、コインなどで押し込むか、かなづちなどで軽く打ち込んでください。

ピン台座に固定ピンを押し込むとき、樹脂の成型上、押し込みが固いものがあります。固定ピンが入りにくいときは、かなづちなどで軽くたたきながら打ち込んでください。

※ 石膏ボードに設置する場合は木ネジを使用しないでください。

- 3 取付用定規をはずしてください。
下方向にはずしてください。
- 4 各固定ピンの頭が浮いていないか、壁掛用フックと壁の間に隙間がないかを確認してから隙間がなければ、ピン台座用キャップを取り付けてください。

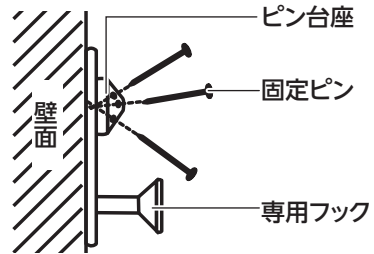
◆石膏ボードの場合



固定ピンでの取り付けのご注意

ピン台座に固定ピンを差し込む際、樹脂の成型上、差し込みが固いものがあります。

- 固定ピンが入りにくい場合は、かなづちなどで軽くたたきながら打ち込んでください。
- 打ち込みの際には、それぞれのピンの打ち込み方向に違いがありますので、1本ずつ行なってください。
- 取り付けについては、十分ご注意ください。



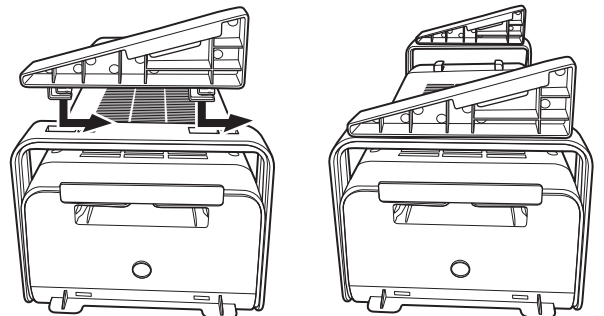
4. 本体に壁掛用ブラケットを取り付ける

本体の裏側に壁掛用ブラケットをスライドさせて取り付けてください (右図)。

※ 壁掛用ブラケットの方向が逆であると取り付けることができません。

必ず本体に壁掛用ブラケットを取り付けてから、壁掛けをしてください。

※ 順番を誤りますと、破損の原因になります。



本体の穴に対して壁掛用ブラケットのツメを合わせるように押し当て、スライドさせて固定します

左右2つとも取り付けてください

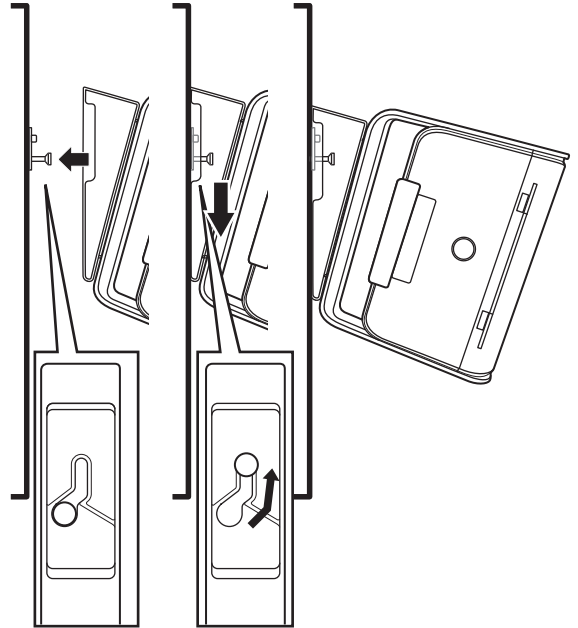
5. 壁掛用フックに本体を取り付ける

本体に取り付けた壁掛用ブラケットの上部の穴を、既に取り付けてある壁掛用フックに取り付けます。

本体を両手で持ち、水平の状態ですべて同時に取り付けてください。壁掛用ブラケットの上部の穴は、途中で曲がっていますので、左右同じ高さにして本体を動かしてください。

※取り付けをするときに、電源コードを挟まないようにご注意ください。

※垂直な壁に対して壁掛用ブラケットの角度まで倒した状態では使用できませんが、さらに角度をつけると、転倒オフスイッチにより、動作しません。



6. 電源プラグをコンセントに差し込む

電源ランプが点灯し、「ピッピッ」という音が出ます。



警告

- 定格15A以上の壁コンセントを単独で使用する。
他の器具と併用するとコンセント部が異常発熱して発火の原因になります。
- 本体に衣類などをかけて使用しない。
火災・やけど・本機の故障の原因になります。
- 電源コードを束ねたまま使用しない。
電源コードの発熱・発火の原因になります。
- 外出等で本体から長時間離れるときは、電源プラグをコンセントから抜く。
安全装置が働いて、ヒーターが停止していることがあります。温度が下がると自動的に運転を開始しますので、消し忘れ・火災の原因になります。

リモコン収納のしかた

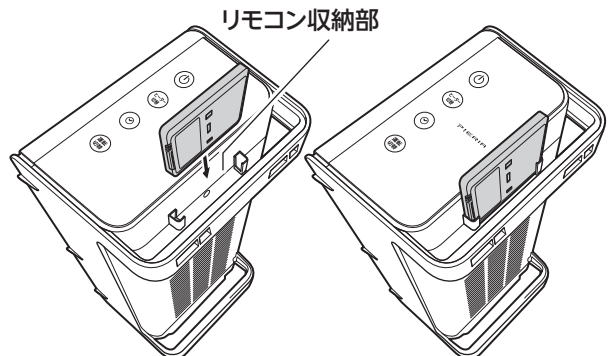
リモコンを使用しないときは、リモコン収納部に取り付けておいてください。

1. 横置きの場合(壁掛けも含む)

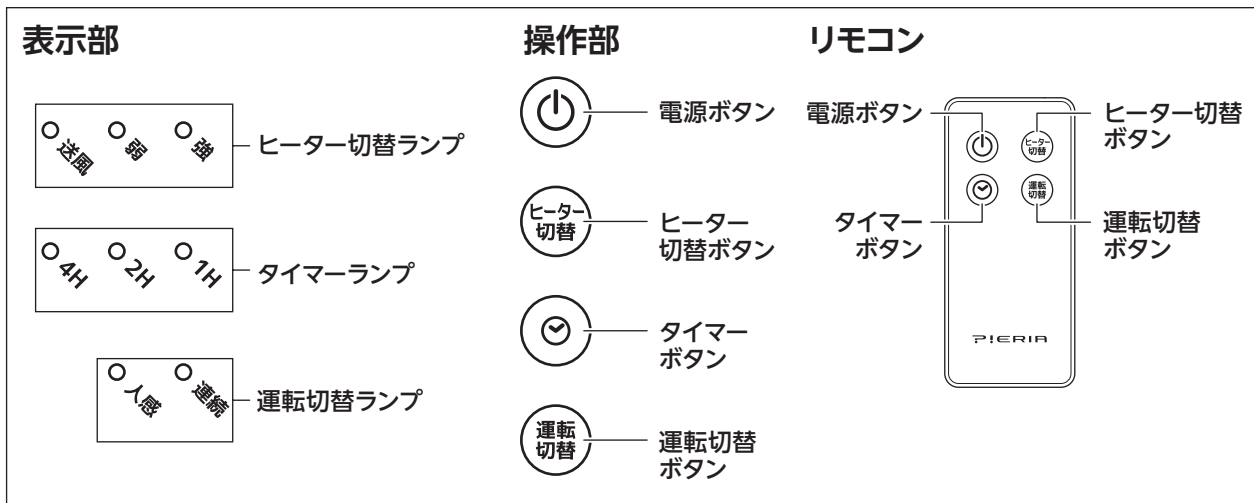
正面から見て、本体右側がリモコン収納部になります。

2. 縦置きの場合

本体上側がリモコン収納部になります。



正しい使いかた



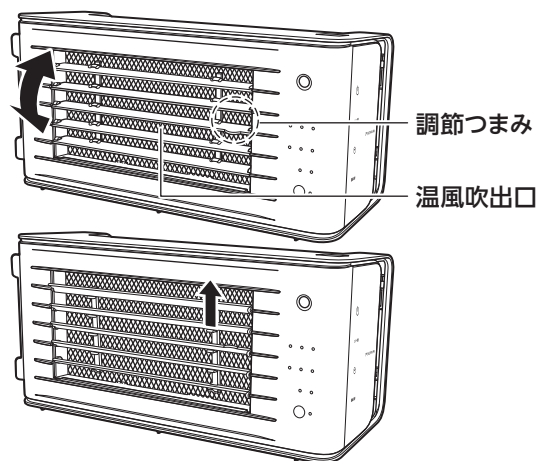
運転の開始／停止

1. 風向きを調整する

本体の温風吹出口の向きは、右側の調節つまみで上下に調節できます。



注意 運転中、運転直後は風向きの調整を行わない。やけどの原因になります。



2. 電源ボタンを押して運転を開始する

電源ボタンを押すと「強」、連続運転モードで運転を開始します。

- 温風は、はじめに約10秒間「弱」で運転したのちに「強」に切り替わります。

3. ヒーター切替ボタンを押し、「強」・「弱」、または「送風」を選ぶ



ヒーター切替ボタンを押すごとに「強」と「弱」、「送風」が順番に切り替わり、ヒーター切替ランプが切り替わります。

- 「送風」から「強」に切り替えると、実際の温風はまず約10秒間「弱」で運転したのちに「強」に切り替わります。
- 「送風」は風が出るだけで温風は出ません。

※ 「強」「弱」と切り替えても、温風吹出口から出る温風の風量は変化しません。

4. 人感センサー運転をする



⑧運転切替ボタンを押すと人感センサー運転モードになり、人感ランプが点灯します。
もう一度⑧運転切替ボタンを押すと人感ランプが消灯し、連続運転モードになります(右枠参照)。

5. 運転を停止する

⑨電源ボタンを押すと運転を停止します。
※運転を停止後、冷却するため約10秒間送風します。
・電源ランプは点灯したままです。

6. 電源プラグを抜く

ヒーターランプ・運転切替ランプが消灯し、送風が停止したことを確認してから電源プラグを抜いてください。
・電源プラグを抜くと電源ランプが消灯します。
・電源ボタンを押して電源を切っただけでは待機電力を消費します。使用を終えたら、電源プラグを抜いてください。

①連続運転モード

設定された状態のまま、連続運転をします。

※連続運転モードのときは人感センサーは動作しません。

②人感センサー運転モード

人の動きを感知して自動的に運転・停止を行いません。

人を感知しなくなってから約2分後に暖房運転が停止し、ヒーター切替ランプが点滅、10秒間送風してから運転を停止して待機状態となり、人感ランプが点滅します。

送風運転時に人の動きを感知すると、暖房運転を開始し、ヒーター切替ランプが点滅から点灯に切り替わります。

待機状態時に人の動きを感知すると暖房運転を開始し、ヒーター切替ランプ、人感ランプが点滅から点灯に切り替わります。

※センサー感知範囲は左右合わせて約60度、上下角度合わせて約60度、センサー到達範囲は1.5m以内です。

※人感センサー運転モードでは切り忘れ防止機能は働きます。

減光モード

本体またはリモコンの操作をしてから約1分経過すると、自動的に表示ランプが減光になります。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプの明るさは通常に戻ります。

切り忘れ防止機能

本体を最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。
※人感センサー運転モードでは切り忘れ防止機能は働きます。



警告

- ・冷却のための送風が終わるまで電源コードを抜かない。
故障の原因になります。
- ・送風が終わってもすぐに温風吹出口には触れない。
やけどの原因になります。

正しい使いかた (つづき)

切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 運転中、Ⓞタイマーボタンを押して切タイマーの時間を設定する

Ⓞタイマーボタンを押して、切タイマーの時間を設定することができます。

- Ⓞタイマーボタンを押すたびにタイマーランプが1H・2H・4H・(消灯)と変化します。
- タイマーランプは切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。

※ 人感センサー運転モードであっても、切タイマーの設定時間になると電源が切れます。

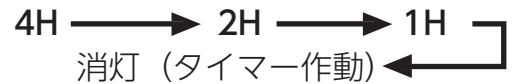
2. 切タイマーをキャンセルする

Ⓞタイマーボタンを何回か押して、タイマーランプを消灯させます。

Ⓞタイマーボタンを押すたびに下のように切り替わります。



タイマーランプは時間がたつと下のように切り替わります。



お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めたことを確認する。
感電・けが・やけどの原因になります。

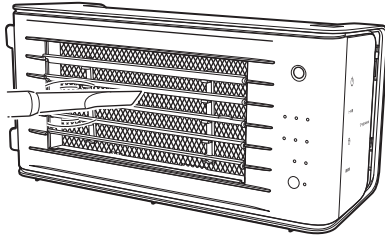
本体のお手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤（柑橘系を除く）に浸してかたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。（樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。）

※お手入れをするとき、オレンジ・ライムなど柑橘系成分の入った食器用中性洗剤を使用しないでください。プラスチックを変色、変質させる原因になります。

温風吹出口のお手入れ

掃除機でホコリを吸い取ってください。



吸気口のお手入れ

1. まず最初に吸気口に付いたホコリを掃除機で吸い取ってください。



吸気口を十分にきれいにしてからプレフィルターを引き出す。
吸気口をきれいにしていないと、プレフィルターを引き出したときに吸気口にあるホコリなどが本体内に入ってしまう、故障の原因になります。

2. 十分に吸気口がきれいになったことを確認してから、プレフィルターを引き出してください。
3. プレフィルターをお手入れしてください。
プレフィルターのお手入れは通常、ホコリを掃除機で吸い取ります。汚れがひどい場合、水洗いをしてください。
水洗いをした場合は、十分に乾燥させてから取り付けるようにしてください。

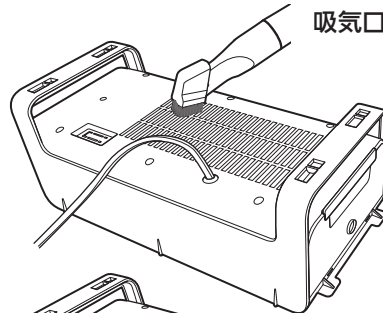
交換用プレフィルター

商品名 プレフィルター 1500円(税抜)

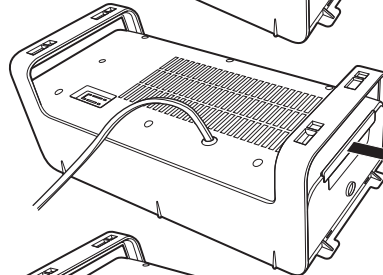
型番 PFT-CHS122J

お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室（⇒裏表紙）へお問い合わせください。

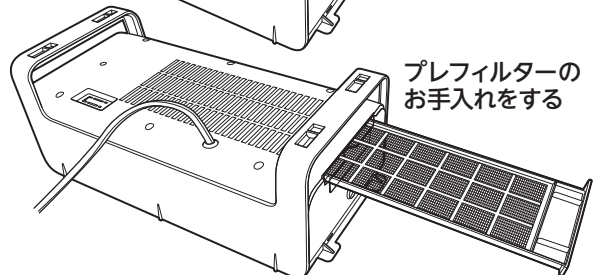
吸気口のホコリを吸い取る



吸気口が十分にきれいになってからプレフィルターを引き出す



プレフィルターの
お手入れをする



お手入れと保存 (つづき)

お願い

- ※ 住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ※ 化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きにしたがってください。
- ※ 本体に直接、水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

保存のしかた

- ※ お手入れの後、よく乾燥させてください。
- ※ 使用しないときは、壁掛けをしている場合は壁掛けから取りはずし、ポリ袋などに入れ、取扱説明書とともにお買い上げ時の箱に入れ、湿気の少ない場所に保存してください。

修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない	電源プラグをしっかりと差し込んでください
	・安定した水平な場所に置かれていないため、転倒オフスイッチが働いている	安定した水平な場所に置くなど、置き場所を確認してください
	・安全装置（温度ヒューズ）が働いている（4ページをご参照ください）	販売店またはドウシシャお客様相談室（裏表紙参照）にご連絡ください
突然電源が切れた	・切タイマーが設定されていた ・切り忘れ防止機能がはたらいた	本体またはリモコンのⓂ電源ボタンを押して電源を入れてください
電源ボタンで切にしているのに運転を停止している	・切り忘れ防止機能で運転を停止した	最終操作から約12時間経過すると、運転が自動的に停止するので、再度電源ボタンを押して運転を開始してください
	・切タイマーが作動した	問題ありません。再度電源ボタンを押して運転を開始してください
電源ボタンで入にしているのに運転を開始した	・人感センサーモードが設定されていて、動作を開始した	Ⓜ運転切替ボタンを押して人感センサーモードを解除するか、Ⓜ電源ボタンを押して電源を切ってください
リモコンで操作できない	・リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	・本体のリモコン受光部に信号が届いていない	リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に向ける
	・コイン形リチウム電池が逆に入っている	コイン形リチウム電池を正しく入れる（「リモコンに電池を入れる」(5ページ)）
壁掛けから運転時に異音がある	・壁掛けをしっかりと行っていない（すき間がある）	しっかりと壁掛けを行なう
電源ボタンを押して運転停止しても、ファンが回っている	・ヒーターを冷やすために約10秒間、ファンが回ったままになります	ファンが回っているのが約10秒なら問題ありません
表示ランプの点灯が暗い	・最後に操作してから約1分経過し、減光モードになっている	本体またはリモコンのⓂ電源ボタン以外の操作ボタンが押されると、減光モードが解除され、元の明るさに戻ります

長年ご使用のヒーターはよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。

このような症状の時は、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

故障・修理についてのご相談に関しては…

【受付時間】 9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0857 福井県越前市四郎丸町52-5

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。



株式会社 **ドウシシャ**

www.doshisha.co.jp